

令和7年度の目標と達成度

課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
②学校と地域の課題	青少年の健全育成	遠方からスクールバスで登下校している学校や児童減少が著しい学校は、集団遊びの機会が少ない。	子ども同士が集団で行うプログラムや地域との交流をできる場を創出する。	・コーディネーショントレーニングやしっぽとりなど集団で活動するプログラムを実施する。 ・地域の行事に絡めるプログラムや、地域の方とふれあうプログラムを増やす。	・集団で遊ぶことが楽しいと思える。 ・地域の行事や団体への関心を高める。	集団活動や地域に関係するプログラムの実施回数	回	20	19	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる 現在、小規模校2校を対象として実施しているため、放課後に集団で遊ぶ機会の少ない子達にとって、集団で取り組むプログラムは楽しさを感じていると思われる。今後も集団で取り組めるプログラムを充実していく。
③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	地理的要因や家庭の事情などで、様々な体験をする機会が少ない。	家庭や学校ではできない様々な体験活動を行う。	体を動かしたり、物を作るなど多くの児童が参加する魅力ある様々なプログラムを用意する。	各プログラムへの参加児童数を増やす。	登録児童数に対する参加児童の割合	%	85	75	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる 毎年、魅力あるプログラムにするため少しずつ内容を変化させてきた。運動系・工作系のプログラムは人気があるが、それ以外のプログラムについて、さらに魅力あるものにすることが課題である。